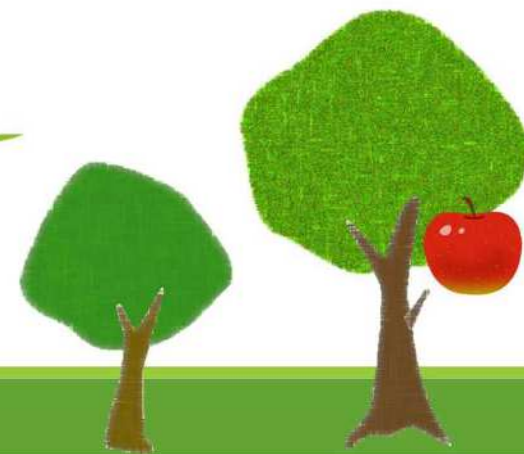


保育施設の防火防災対策

東京消防庁予防部防火管理課





本日の内容

1. 東京消防庁管内の火災状況
 2. 電気機器からの火災を防ぐために
 3. 調理機器等からの火災を防ぐために
 4. 保育施設の火災事例
 5. 防火管理者の責務
 6. 消防計画の作成
 7. 自衛消防訓練の定期的な実施
 8. ネットで自衛消防訓練
 9. 東京消防庁公式アプリ
 10. 東京消防庁からのお知らせ
- 

1. 東京消防庁管内の火災状況（令和6年中）

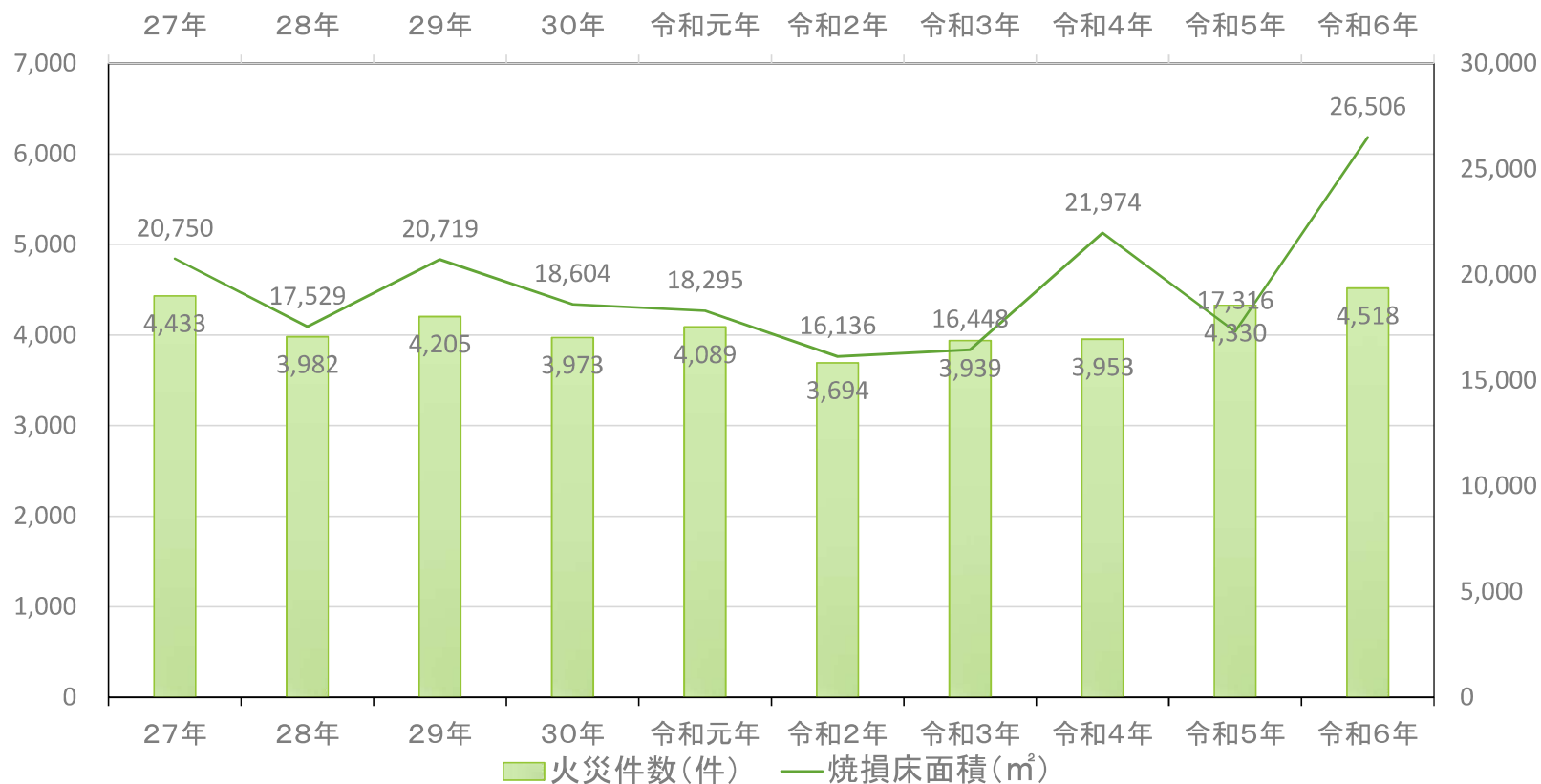
内 容	件 数	前 年 比
火災件数	4, 5 1 8件	1 8 8件増加
焼損床面積	2 6, 5 0 6m ²	9, 1 9 0m ² 増加
火災による死者	9 4名	8名増加
火災による負傷者	7 9 4名	4 4名増加

主な出火原因（令和6年中）

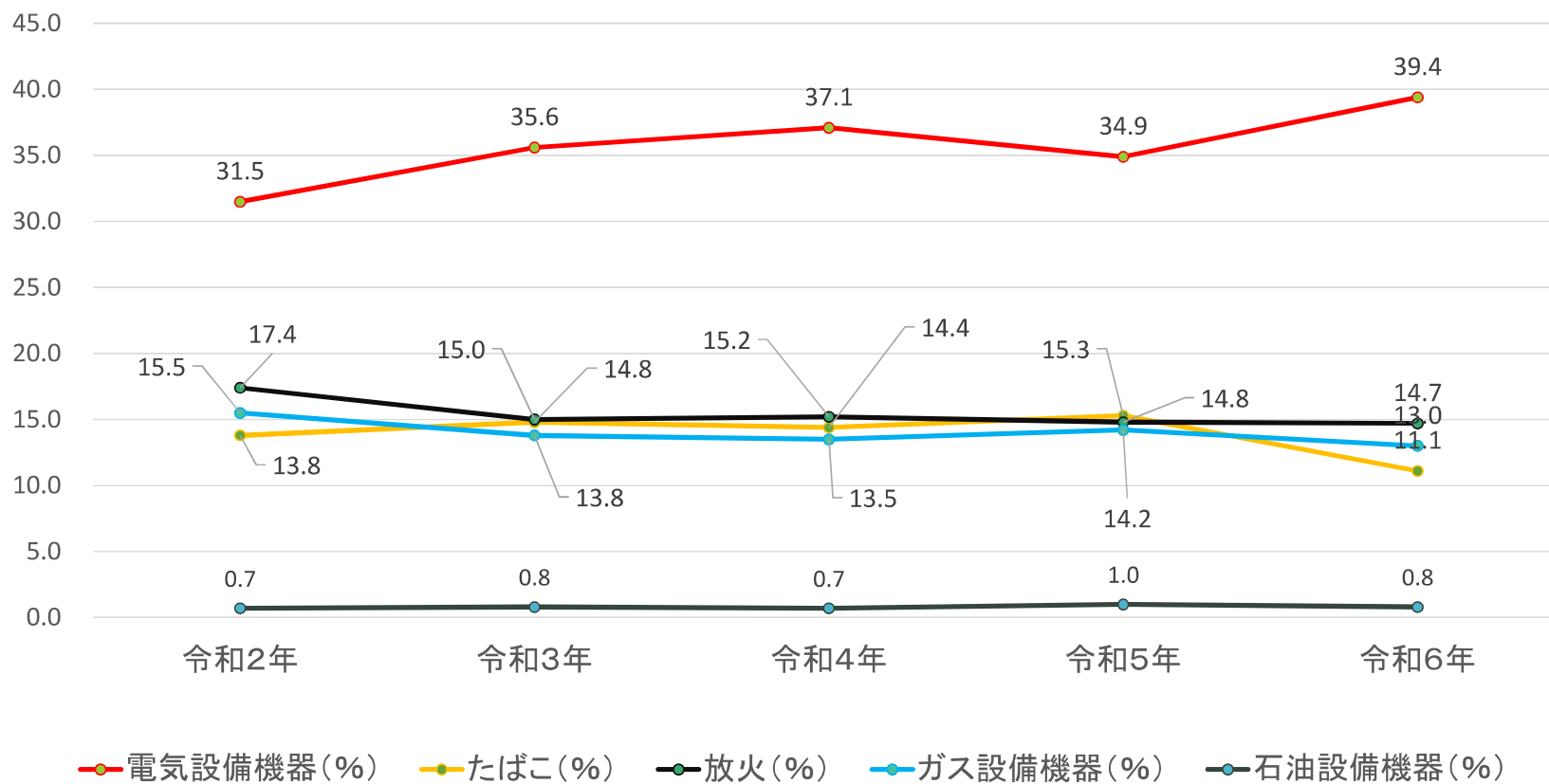
順位	原 因	順位	原 因
1位	放火(疑い含む)	5位	コンセント
2位	たばこ	5位	コード
3位	ガステーブル等	7位	差込みプラグ
4位	大型ガスこんろ	8位	電気ストーブ

※令和6年中の数値は速報値のため変動する場合があります。

東京消防庁管内の火災件数と焼損床面積の推移 (平成27年～令和6年)



火災原因別の割合（令和2年～令和6年）



電気機器による火災は、全火災の約4割を占めています！



2. 電気機器からの火災を防ぐために

身近に潜む電気火災

電気火災の中でも電線の短絡（ショート）・トラッキング・半断線等によっておこる火災は、火を使うガスこんろ等と違い火を使用している意識がないため、火災に気づきにくい特徴があります。

これらの電気火災に至る経過として、短絡（ショート）、接触部過熱、トラッキングの順に多く発生しています。



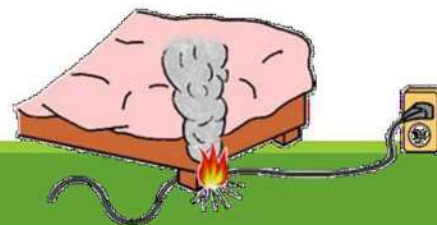
2. 電気機器からの火災を防ぐために

電線の短絡（ショート）・半断線による火災

電気コードの家具等による踏みつけ、束ねての使用、折れ曲がったままの使用は、電気コードの被覆の損傷や温度上昇、経年劣化による短絡（ショート）、半断線による発熱を引き起こし、火災の原因となります。

※半断線とは、コード内部の線が一部断線した状態をいいます。

- 予防策
- ① コードの上に家具等を置かない。
 - ② 折り曲げた状態や束ねて使用しない。
 - ③ 延長コード等をステップルで固定しない。
 - ④ コード短絡保護機能付きブレーカーを使用する。



2. 電気機器からの火災を防ぐために

電線が短絡（ショート）し断線した写真



2. 電気機器からの火災を防ぐために

トラッキング現象による火災

コンセントに差したプラグの差し刃の間にほこりが付着していると、湿気を帯びたほこりが電気回路を形成し、放電による火花が発生して、火災となります。

予防策

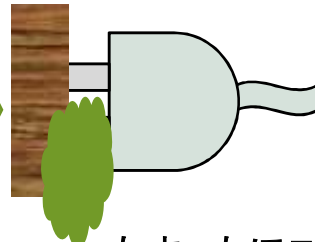
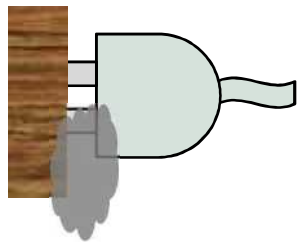
- ① 定期的に点検・清掃（乾いた布等）する。
- ② トラッキング対策をした差し込みプラグや部品に交換する。
- ③ 使用しないプラグは抜いておく。
- ④ 見えにくい場所のコンセントには特に注意する。



2. 電気機器からの火災を防ぐために

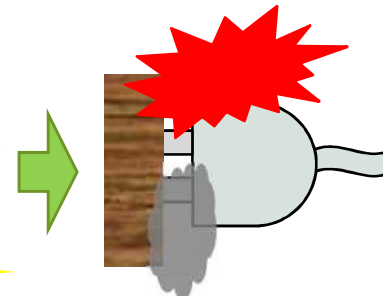
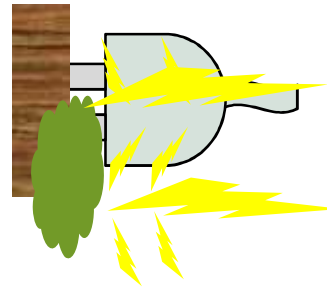
トラッキング現象による火災発生のしくみ

プラグの隙間に
ほこりがたまる



たまったほこりが
湿気を帯びる

電源プラグの刃の間に
火花放電が繰り返される



やがて刃の間に電気回路が形成され出火！

トラッキング現象の危険なところは、電気機器を使用していなくても、コンセントに電源プラグを挿しているだけで発生する点です！

2. 電気機器からの火災を防ぐために

トラッキング火災が発生した写真



トラッキング現象の危険なところは、家電製品を使用していなくても、コンセントに電源プラグを差しているだけで発生する点です！

2. 電気機器からの火災を防ぐために

金属の接触部の過熱

プラグがコンセントにしっかり差し込まれていなかったり、プラグの差し刃が変形したりしていたりすると、過熱して火災の原因になります。

予防策

- ① プラグはコンセントにしっかり差し込む
- ② プラグ・コンセントは変形等がないか定期的に点検する。



2. 電気機器からの火災を防ぐために

過多の電流（タコ足配線）

テーブルタップを決められた容量以上で使用すると発火し火災の原因になります。

- 予防策 ① テーブルタップは決められた容量内で使用する。
② タコ足配線をしない

～テーブルタップから出火した事例～

電気ポットのコンセントが点滅していたので、テーブルタップのコンセント差し込み部分を見ると、**焦げ**ていた。

原因・・・テーブルタップの**定格許容量は**1500Wであったが、消費電力750Wと875Wの電気ポット2台を使用していた。



2. 電気機器からの火災を防ぐために

リチウムイオン電池

リチウムイオン電池は、繰り返し充電、放電できる電池のことで、二次電池の一つです。この電池は、主に小型で大量の電力を必要とする製品（スマートフォン、コードレス掃除機、ノートパソコンや電動工具など）に使用され、他の二次電池と比べて高容量、高出力、軽量という特徴があります。

リチウムイオン電池は、電解液として可燃性の有機溶剤を使用しているため、**衝撃等**により内部の正極板と負極板が短絡し、急激に加熱後、揮発した有機溶剤に着火して**出火**することがあります。



これから紹介する事例や他の事例は、
東京消防庁のHPに掲載しています。

掲載先: 東京消防庁ホームページ⇒個人の方へ
⇒火災予防⇒リチウムイオン電池搭載製品の出火危険

2. 電気機器からの火災を防ぐために

リチウムイオン電池の火災事例①

～運行中の電車でモバイルバッテリーから出火した火災～

運行中の電車内において、乗客が鞆の中に入れていたモバイルバッテリーが何らかの要因で短絡し出火したものです。火災に気が付いた他の乗客が初期消火と通報を実施しています。



電車内の焼損状況



モバイルバッテリーの焼損状況

2. 電気機器からの火災を防ぐために

リチウムイオン電池の火災事例② ～無人の事務所で携帯型扇風機から出火した火災～

無人の事務所のデスク上で充電されていた携帯型扇風機が何らかの要因で短絡し出火したものです。下階の居住者が自動火災報知設備の鳴動音で火災を発見しています。



事務室の焼損状況



携帯型扇風機の焼損状況

2. 電気機器からの火災を防ぐために

リチウムイオン電池の火災事例③

～非純正品のACアダプタに接続したバッテリーから出火した火災～

住宅の居室内で充電していた電動アシスト付自転車用バッテリー（以下、バッテリーという）から出火したものです。居住者が純正品のACアダプタとは出力が異なるACアダプタを使用し、バッテリーを充電したことにより電气的不具合が発生し、バッテリーセルが内部短絡し出火しました。



出火箇所の状況



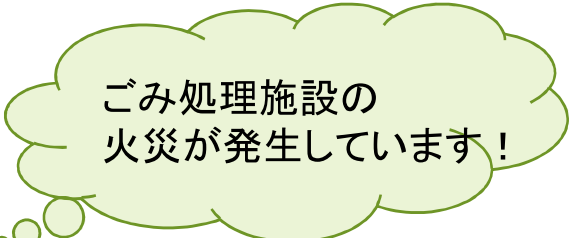
バッテリーの焼損状況



2. 電気機器からの火災を防ぐために

リチウムイオン電池の火災を防ぐには

- 使用する前に取扱説明書をよく確認する。
- 衝撃を与えないように適切に取り扱い、むやみに分解しない。
- 製造事業者が指定する充電器やバッテリーを使用する。
- 充電する際は整理整頓された場所や不燃性のケースなどに入れて充電をする。
- 充電器の接続部が合致するからといって、充電電圧を確認せずに使用しない。
- 膨張、充電できない、バッテリーの減りが早くなった、充電中に熱くなるなどの異常がある場合は使用をやめ、製造事業者や販売店に相談する。
- 製造事業者の問合せ先の記載がない製品や販売店、製造事業者の連絡先に電話がつかない製品もあるので、製品を購入する際には慎重に検討する。
- 熱のこもりやすい鞆の中などでの使用を控える。
- 処分する際は、製品の取扱説明書をよく確認する。
- 不用品を処分する際は、地域のごみの回収方法をよく確認する。



ごみ処理施設の
火災が発生しています！

2. 電気機器からの火災を防ぐために

東京消防庁のHPにて、電気火災の事例を紹介しています！

これも電気火災です！

気になる事例をクリックしてください



コンセントのこげ跡 電球のこげ跡 マルチタップのこげ跡
ドライヤーのコードのこげ跡 コードのこげ跡 自動車用バッテリーのこげ跡
コードレス電動工具バッテリーのこげ跡 モバイルバッテリーのこげ跡

上の写真の例も、状況によっては火災の原因になることもあります

気になる事例をクリック！

火災事例・LED照明



LED電球 LED蛍光灯

- 事故概要
既存の照明器具に適合していないLED照明を取り付けて使用したため、LED照明の電子機器が故障し出火したもの。
- 予防対策
・ LED照明を取り付ける際は、既存の照明器具にLED照明が適合しているか確認し、正しい組み合わせで取り付けてください。照明器具との組み合わせを誤ると火災につながるおそれがあります。

身近に潜む電気火災の実態を確認し、電気火災を防ぎましょう。

2. 電気機器からの火災を防ぐために

東京消防庁からのお知らせ

「電気製品火災相談ガイド」もご確認ください。

偶然に消えただけで、大きな火災になるかもしれません。



コードの焦げ跡



コードから出火した火災



東京消防庁版電気製品火災相談ガイド
のQRコードはこちら！

小さな焦げ等でも迷わず119番通報してください！
東京消防庁では、原因を調べて火災予防につなげています。



3. 調理機器等からの火災を防ぐために



- 調理機器等を使用する際は「**その場から離れない**」。
 - ※ ガスこんろ等を使用する際は、鍋等の底から炎がはみ出さないように、適切な火力に**調節**する。
- 調理機器の周りに**燃えやすいものを置かない**。
- 厨房は、常に整理整頓し、グリスフィルターは**定期的に清掃する**。
- 調理をする際は、**防災品**のエプロンやアームカバーを使用する。
- 使用する機器・器具の取り扱い説明書をよく確認し、**正しく**使用する。



危険！

火気の取り扱い不適・維持管理不適・取扱方法不良等のような様々な原因で火災は発生します。

東京消防庁では、動画共有サイトY o u T u b e東京消防庁公式チャンネルにて火災の危険性に関する各種実験映像等豊富なコンテンツを配信していますので、ぜひご覧ください。



4. 保育施設の火災事例

調理室を併設している保育施設は、調理室から多く火災が発生しています！！

ガスコンロからの火災発生原因を経過別に見ると圧倒的に多いのは「忘れる」、「放置する」です！
ガスコンロの火をつけている時にはその場を離れないようにしましょう。



給食職員の方々への、「設備周辺の清掃」、「火気管理」、「発災時の対応」等について、教育徹底をお願いいたします。

4. 保育施設の火災事例

調理室から出火した火災

- 1 建物の規模・用途
特定用途（※飲食店や保育施設等）の複合建物
耐火造 地上4階建て
- 2 出火場所
1階調理室
- 3 焼損程度
ぼや（天ぷら油若干、紙1枚）
- 4 出火原因
昼間、業務用電磁（IH）調理器の電源スイッチを入れたまま
放置しその場を離れたため、時間の経過とともに鍋の中の天ぷら油
が過熱され出火したもの





4. 保育施設の火災事例

調理室から出火した火災

5 自衛消防活動の状況

(1) 発見・初期消火

栄養士Aは、おやつ調理をするために、油の入った鍋を業務用の電磁調理器で加熱したままその場を離れ、保育室で事務をしていた。

しばらくして、調理室から焦げた臭いがしたので調理室のドアを開けたところ、こんろ鍋から換気扇のあたりまで炎が立ち上っていた。

別の部屋にいた保育士Bは、栄養士Aの火災を知らせる声を聞いて調理室に駆け付け、調理室入口に設置していた粉末消火器1本を使用し初期消火した。1本では消えなかったため、職員室から2本目の粉末消火器を搬送して初期消火を行ったところ炎が収まった。





4. 保育施設の火災事例

調理室から出火した火災

5 自衛消防活動の状況

(2) 避難誘導・通報

火災発生時、園内にいた7名の職員は、火災を発見した栄養士とともに、計8名で保育室の園児0歳～6歳までの33名を保育園の屋外テラスに避難誘導した。

園児を避難誘導した後、栄養士は保育室に戻り、固定電話で119番通報し、通報後に屋外に自主避難した。





5. 防火管理者の責務

防火管理者は、防火管理業務の推進責任者として、防火管理に係る知識を持ち、強い責任感と実行力を兼ね備えた管理的または監督的な地位にある方でなければなりません。

防火管理者が必要な建物と防火管理者の資格区分		
用途	保育所	
収容人員 (建物全体)	30人以上	
延べ面積 (建物全体)	300㎡未満	300㎡以上
資格区分	乙種 または 甲種 防火管理者	甲種防火管理者

保育所の場合は、収容人員が30人以上になると防火管理者の選任が必要です。
(※建物全体の収容人員と延べ面積で判断します。)



5. 防火管理者の責務

主な防火管理者の責務（消防法施行令第3条の2一部抜粋）

- 消防計画の作成、届出
- 火気の使用又は取扱いに関する監督
- 消火、通報、避難の訓練の実施
- 避難又は防火上必要な構造及び設備の維持管理
- 消防用設備の点検・整備
- 収容人員の管理



消防計画

主に

- ①火災予防対策について
- ②災害時の対応について

保育所では、特に**避難の方法**や、**保護者への引き渡し**体制を重点的に計画しましょう！

実態に即した消防計画を作成し、火災が発生したときに備えましょう！

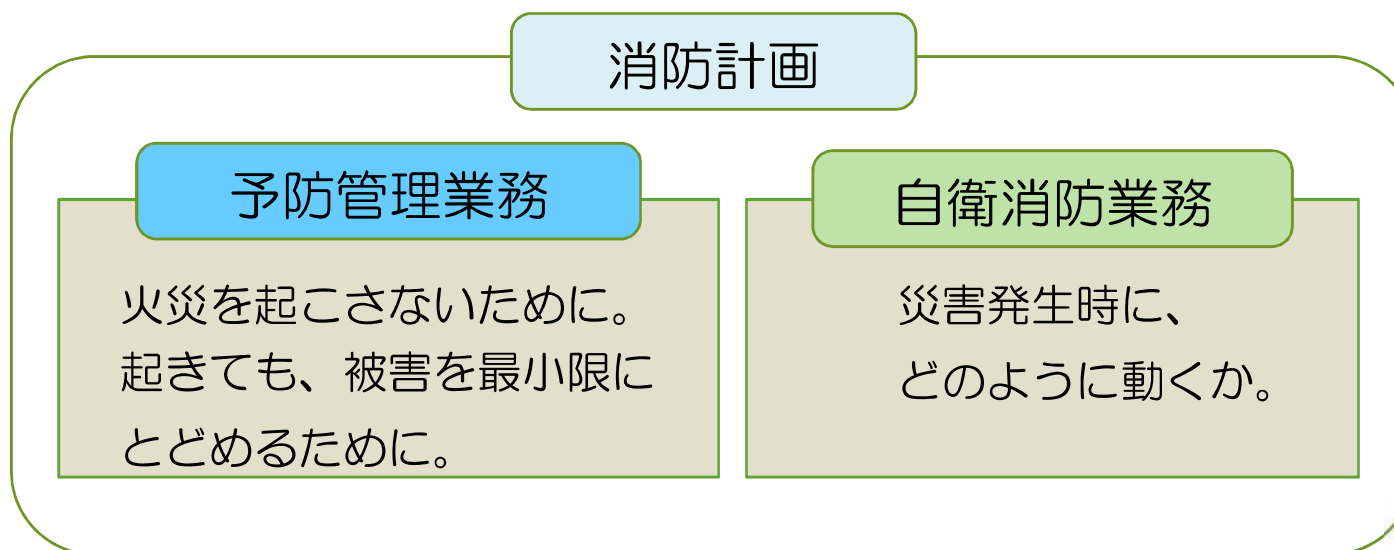




6. 消防計画の作成



消防計画とは、それぞれの建物やテナントにおいて、火災が発生しないように、また、万一火災が発生した場合に被害を最小限にするため、あらかじめ計画を定め、職場内の全員で実行するものです。



6. 消防計画の作成

保育施設の消防計画を作成する際の留意事項

- 1 避難誘導及び救出体制
 - ① 乳幼児をいかに避難させるか？
スタッフの数と、自力避難が困難な乳幼児の数を比べながら、災害時の対応について考える。自力避難が困難な乳幼児（まだ歩けない等）の避難を誰が担当し、どのように安全な場所へ搬送するかを具体的に考える。
 - ② 職員の人数が時間帯によって異なる場合は、時間帯に応じた対応を考える。
- 2 少数職員による自衛消防隊の効率的運用
「通報」「消火」「避難誘導」の任務をどのように分担するか？
- 3 保護者への引き渡し体制
- 4 園児等への防災教育、避難訓練の徹底方策

など





6. 消防計画の作成

保育施設の自主検査・点検項目のポイント

1. 防火管理者は、区域、項目ごとに検査実施者を指定し、自主点検・検査を行う。
 2. 出火防止、避難安全の確認は検査実施者により、毎日行う。
 3. 出火防止の確認は、消防計画で定めている自主検査チェック表（火気関係）を活用し行う。
 4. 避難安全等の確認は、消防計画で定めている自主検査チェック表（閉鎖障害等）を活用し行う。
 5. 建物及び消防用設備等の確認は、消防計画で定めている自主検査チェック表（定期）及び自主点検チェック表（消防用設備等）を活用し行う。
 6. 防火管理者は、検査及び点検の結果を確認し、記録を管理するとともに管理権原者に報告し、不備欠陥箇所に関して計画的な改修を図る。
- 

6. 消防計画の作成

保育施設の自主検査・点検項目のポイント

図表 1
和歌山の火災予防行政推進本部作成、和歌山県消防協会監修、（公益財団法人和歌山県消防協会）

検査項目	検査頻度	検査場所	検査内容
防火管理者、防火担当責任者、火元責任者の配置	常時	全施設	防火管理者、防火担当責任者、火元責任者の配置が適切であること。
防火管理者、防火担当責任者、火元責任者の教育	防火管理者：毎年1回 防火担当責任者：毎年1回 火元責任者：毎月1回	全施設	防火管理者、防火担当責任者、火元責任者の教育が適切であること。
防火管理者、防火担当責任者、火元責任者の点検	防火管理者：毎月1回 防火担当責任者：毎月1回 火元責任者：毎日1回	全施設	防火管理者、防火担当責任者、火元責任者の点検が適切であること。
防火管理者、防火担当責任者、火元責任者の記録	防火管理者：毎月1回 防火担当責任者：毎月1回 火元責任者：毎日1回	全施設	防火管理者、防火担当責任者、火元責任者の記録が適切であること。

- 防火管理者、防火担当責任者、火元責任者が行う日常の任務について分担し、左記の表の例示のように定める。
- 表を職員室などに貼付して**任務を周知**させ、確実にを行うようにする。

図表 2-1
和歌山県消防協会作成、和歌山県消防協会監修、（公益財団法人和歌山県消防協会）

検査項目	検査頻度	検査場所	検査内容
防火管理者、防火担当責任者、火元責任者の配置	常時	全施設	防火管理者、防火担当責任者、火元責任者の配置が適切であること。
防火管理者、防火担当責任者、火元責任者の教育	防火管理者：毎年1回 防火担当責任者：毎年1回 火元責任者：毎月1回	全施設	防火管理者、防火担当責任者、火元責任者の教育が適切であること。
防火管理者、防火担当責任者、火元責任者の点検	防火管理者：毎月1回 防火担当責任者：毎月1回 火元責任者：毎日1回	全施設	防火管理者、防火担当責任者、火元責任者の点検が適切であること。
防火管理者、防火担当責任者、火元責任者の記録	防火管理者：毎月1回 防火担当責任者：毎月1回 火元責任者：毎日1回	全施設	防火管理者、防火担当責任者、火元責任者の記録が適切であること。

図表 2-2
和歌山県消防協会作成、和歌山県消防協会監修、（公益財団法人和歌山県消防協会）

検査項目	検査頻度	検査場所	検査内容
防火管理者、防火担当責任者、火元責任者の配置	常時	全施設	防火管理者、防火担当責任者、火元責任者の配置が適切であること。
防火管理者、防火担当責任者、火元責任者の教育	防火管理者：毎年1回 防火担当責任者：毎年1回 火元責任者：毎月1回	全施設	防火管理者、防火担当責任者、火元責任者の教育が適切であること。
防火管理者、防火担当責任者、火元責任者の点検	防火管理者：毎月1回 防火担当責任者：毎月1回 火元責任者：毎日1回	全施設	防火管理者、防火担当責任者、火元責任者の点検が適切であること。
防火管理者、防火担当責任者、火元責任者の記録	防火管理者：毎月1回 防火担当責任者：毎月1回 火元責任者：毎日1回	全施設	防火管理者、防火担当責任者、火元責任者の記録が適切であること。

- 終業時や始業時を捉え、ガス関係、電気関係等の項目について点検する。
- 避難口・階段の避難障害、防火戸・防火シャッターの閉鎖障害等について、**1日2回以上など、実施する頻度を決め**確実にを行うようにする。



7. 自衛消防訓練の定期的な実施



火災などの災害が発生した場合の初期消火、通報連絡、避難誘導、救出救護、消防隊への情報提供などの自衛消防活動を効果的に行うための訓練を定期的に行います。

訓練内容	訓練回数（消防法施行規則第3条第10項）
消火訓練	年に2回以上 （事前に消防署への通報の義務があります。）
避難訓練	
通報訓練	消防計画に定められている回数

訓練を行う前に！

（注）保育所・認証保育所・認可外保育施設は、児童福祉関係法令等により、避難・消火訓練を毎月1回以上実施する必要があります。
東京都福祉局

訓練を実施する場合は、事前に消防署へ連絡が必要です。



7. 自衛消防訓練の定期的な実施

自衛消防訓練通知書について

訓練を実施する場合は、事前に管轄消防署長へその旨を「**自衛消防訓練通知書**」で連絡してください。電子申請でも手続きできます。



訓練が終わったら、**自衛消防訓練実施結果記録書**を作成し、次回の訓練に活かしましょう！
(※消防署への提出の義務はありませんが、訓練日から3年間保存する義務があります。)

書類はこちらから

＜東京消防庁HP—申請様式—②防火管理者・消防計画・訓練通知書・自動通報— 6.自衛消防＞



東京消防庁申請様式





7. 自衛消防訓練の定期的な実施



実際に火災が発生したという気持ちで訓練をやりましょう！

訓練内容	ポイント
消火訓練	消火器は使えますか？ 消火器のある場所はわかりますか？
通報訓練	保育所の住所、建物名はわかりますか？ 具体的に状況を説明できますか？ （何が、どのくらい燃えていますか？）
避難訓練	避難誘導方法や避難する方向は決まっていますか？

それぞれの役割を確認しましょう！



7. 自衛消防訓練の定期的な実施

1 消火訓練

消火器や屋内消火栓の使い方を覚えて、設置場所を確認しましょう。

消火器の使い方

- ① 火元の近くに運ぶ。
- ② 安全ピンを抜く。
- ③ ノズルを火元に向ける。
- ④ レバーを握る。
- ⑤ 放射する。



消火器の使い方を覚えよう！
(ネットで自衛消防訓練)

- ①火元の近くに運ぶ
- ②安全ピンを抜く



逃げ道よし

- ③ノズルを火元に向ける
- ④レバーを握る



⑤放射

7. 自衛消防訓練の定期的な実施

消火器について

安全ピン



指示圧力計

蓄圧式消火器の場合は、針が緑色の範囲内にあるか確認しておきましょう。



対応火災表示

発火源を確認してから使用しましょう。

普通火災 (A火災)

木材、紙類、繊維など、普通可燃物による火災



油火災 (B火災)

ガソリンやシンナーなど、油による火災



電気火災

電線や変圧器、モーターなど、電気による火災



7. 自衛消防訓練の定期的な実施

POINT

消火器の使うときのポイント

- ① 運ぶ前に安全ピンを抜かないようにする。
- ② 危険と感じた場合は、直ちに安全な場所に避難する。
- ③ 風上から掃くようにして消火する。
- ④ 粉末消火器による消火は、水のように浸透力がないので、一時的に消火できたようにみえても再度燃焼する可能性があるため、最後に水をかけて完全に消火させる。
- ⑤ 日頃から消火器の設置場所、消火器に表示してある適応火災、放射時間、放射距離を確認する。

7. 自衛消防訓練の定期的な実施

屋内消火栓について

屋内消火栓には、使い方の方法や能力の違いにより数種類の屋内消火栓があります。ここでは、代表的なものを2種類紹介します。

1号消火栓

大量の水を高圧で放水
原則2名以上で操作



2号消火栓

1人で操作可能



7. 自衛消防訓練の定期的な実施

屋内消火栓には、使い方の方法や能力の違いにより数種類の屋内消火栓があります。ここでは、代表的なものを2種類紹介します。

屋内消火栓の使い方（1号消火栓）

- ① 屋内消火栓を選定する。
- ② 起動ボタンを押す。
- ③ 消火栓の扉を開ける。
- ④ ホースを延長する。
- ⑤ 開閉バルブを開く。
- ⑥ 放水する。
(噴霧ノズル付きのものは
ノズルを開く。)

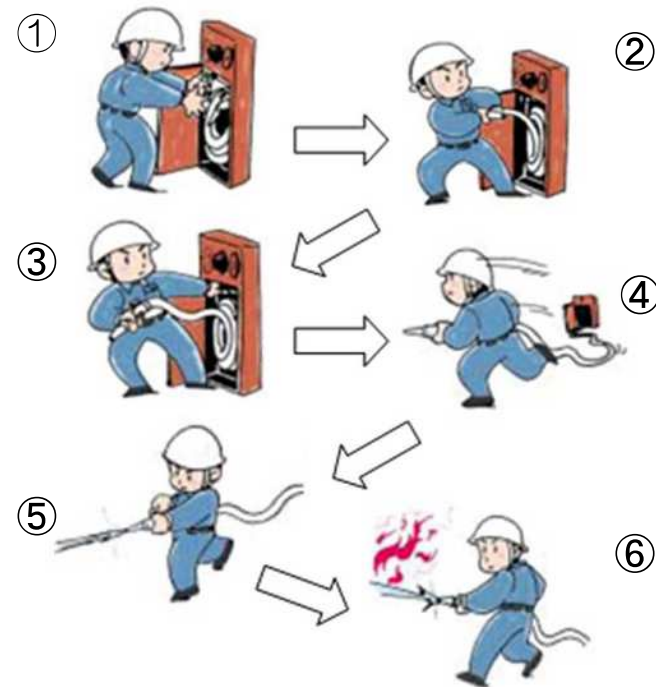


7. 自衛消防訓練の定期的な実施

屋内消火栓には、使い方の方法や能力の違いにより数種類の屋内消火栓があります。ここでは、代表的なものを2種類紹介します。

屋内消火栓の使い方（2号消火栓）

- ① 消火栓の扉を開ける。
- ② 筒先を取り出す。
- ③ 消火栓開閉弁を開く。
（操作がない場合もある。）
- ④ ホースを延長する。
- ⑤ ノズル開閉弁を開く。
- ⑥ 放水する。



7. 自衛消防訓練の定期的な実施

屋内消火栓使用時の注意事項

- ① 1号消火栓の場合、消火ポンプの起動ボタンを必ず押す。
- ② 屋内消火栓は、2個以上を一斉に放水すると、各ノズルの放水圧力が低下する。
- ③ 消火栓の放水時間は、概ね20分程度。
- ④ 放水の必要がなくなったときは、放水を停止する。
- ⑤ 放水中にホースから手を放さない。
- ⑥ 放水及びホース延長時は、転倒に注意する。
- ⑦ 消火ポンプが起動すると、屋内消火栓箱上部の赤色灯が点滅し、確認することができる。



7. 自衛消防訓練の定期的な実施

2 通報訓練

消防機関への通報や、館内への連絡、情報収集の方法を確認しましょう。

119番通報

- ・災害の種別（火事か救急か）
- ・どこで（住所・建物名）
- ・何が燃えているか。
- ・けが人や逃げ遅れはいるか。



119番通報要領（ネットで自衛消防訓練）



非常放送

- ・放送設備や自動火災報知設備の使い方を知る。
- ・非常時の放送文例を準備しておく。



放送設備が自動火災報知設備と連動している場合の使用方法を覚えよう！（ネットで自衛消防訓練）

情報収集・情報提供

- ・火災発生場所はどこで何が燃えているか。
- ・逃げ遅れた人はいないか。
- ・初期消火は成功したか。
- ・在館者や消防隊に情報を提供する。



7. 自衛消防訓練の定期的な実施

3 避難訓練

避難誘導の方法を確認し、実際に避難経路を通ってみましょう。

- 放送を聞いて、避難方向を指示する。
- 煙を吸わないように呼びかける。
- 階段入り口や曲がり角等に誘導員を配置し、効率よく避難誘導をする。
- 実際に避難経路を通して避難してみる。



避難誘導(ネットで自衛消防訓練)

7. 自衛消防訓練の定期的な実施

館内放送

放送設備を使用して、避難する**方向**や、**順番**を放送し、落ち着いて避難できるように誘導しましょう。

放送設備が使用できるようにしておきましょう！



避難誘導する際の**注意点**

- **階段**から避難する！
- **出火した階**、出火場所の**上の階**を優先して避難させる！
- 逃げ遅れている人がいないか確認し、最後の方は**扉を閉めて**避難する！
- 「**お・か・し・も**」子どもたちと一緒に覚えましょう！



お 押さない
か 駆けない
し しゃべらない
も 戻らない

8. ネットで自衛消防訓練

動画で学べる！
ネットで自衛消防訓練

いつでも！ どこでも！ ひとりでも！

火災編 地震編
消防用設備等の取扱い編 小規模社会福祉施設編

東京消防庁 TOKYO FIRE DEPARTMENT
公益財団法人 東京防災救急協会
ネットで見える消防訓練 検索
https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp
東京消防庁公式ホームページ
Twitter: @tfd_tkyo

新しい日常に対応した
「**ネットで自衛消防訓練**」を
東京消防庁ホームページ
電子学習室に公開しています。

いつでも、どこでも、ひとりでも
をコンセプトに、集合せずに実施できる
新たな自衛消防訓練の方法です。

パソコン、スマートフォンどちらでも
動画を見ることができるので、
各々で動画を見て自衛消防訓練
を実施することができます！



ネットで自衛消防訓練 検索

※英語・中国語（繁体字、簡体字）及び韓国語に翻訳
したものを公開しています。

8. ネットで自衛消防訓練

ネットで自衛消防訓練とは



消防用設備の取扱要領や
使用時の注意点等も学べます。



火災発生から、通報・消火・避難
誘導などの自衛消防活動を動画で
分かりやすく解説！



視聴後、実際に勤務先の消防用設備等や避難経路を確認することで効果的な訓練に！

8. ネットで自衛消防訓練

火災が発生した時の自衛消防隊の基本的な活動要領を、ストーリー仕立てで解説！！

火災発見



火災を発見したら、
初めに何をするの？

119番通報



119番通報をしたら
何を聞かれるの？

初期消火



安全に消火する
ポイントは？

避難誘導



どこに避難誘導するの
が正しいの？

火災発生時に使用する消防用設備の取扱い要領や使用時の注意点を解説！！

消火設備



消火器
屋内消火栓 など

警報設備



自動火災報知設備
放送設備 など

復旧方法



スプリンクラーの水の
止め方を知っていますか？

その他



防火シャッター
緩降機 など

ネットで自衛消防訓練の最後に、「**自衛消防訓練チェックシート**」が出てきます。
このチェックシートを活用して勤務先の消防用設備等の設置場所や避難経路を実際に確認しましょう！

8. ネットで自衛消防訓練

「ネットで自衛消防訓練」の活用方法（例）

① 訓練方法を施設スタッフに知らせる

防火管理者

差出人 防火管理者
宛先 社員各位
件名 自衛消防訓練について

おつかれさまです。

今回の自衛消防訓練は、動画を使った訓練を行います。

「ネットで自衛消防訓練」
URL: <https://www.....>

② 各々で動画を見る

いつでも見られて便利♪

間違えた！
もう一度見直そう

☆家でもできる

☆会社でもできる

③ 動画を見た後、チェックシートを作成する

チェックシートで自分の理解度が分かるんだ！

自衛消防訓練チェックシート
理解できた内容をチェックしよう

☐ 初期消火 ☐ 119番通報
☐ 避難誘導

あなたの勤務先の設備の場所と避難経路を確認しチェックしよう

☐ 消火器 ☐ 屋内消火栓
☐ 避難経路

④ 施設の消防用設備や避難経路を実際に確認する

消火器はここ！
避難はここから！

受信盤

8. ネットで自衛消防訓練

ネットで自衛消防訓練
～地震編～



**もしも明日、首都直下地震が来たら・・・
大切な命を守れますか？**

日本語・英語・中国語（繁体字・簡体字）・韓国語で公開中！！

東京消防庁
TOKYO FIRE DEPARTMENT

公益財団法人
東京防災救急協会
Tokyo Disaster Prevention & Emergency Medical Service Association

ネット上で自衛消防訓練 検索
<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/>
東京消防庁公式チャンネル
YouTube東京消防庁公式チャンネルで公開中！

令和4年5月に首都直下地震等による東京の被害想定が見直されたことを受け、地震発生時の事業所の自衛消防活動能力を、より一層強化する必要があります。

新しく東京消防庁では
「**ネットで自衛消防訓練（地震編）**」を
東京消防庁ホームページ電子学習室・YouTube東京消防庁公式チャンネルで公開いたしました。

「ネットで自衛消防訓練（地震編）」は、**地震発生**時における事業所自衛消防隊の一連の活動要領について解説したものです。

パソコン、スマートフォンどちらでも動画を見ることができるので、動画を見て災害に備えましょう！



ネットで自衛消防訓練(地震編) 検索

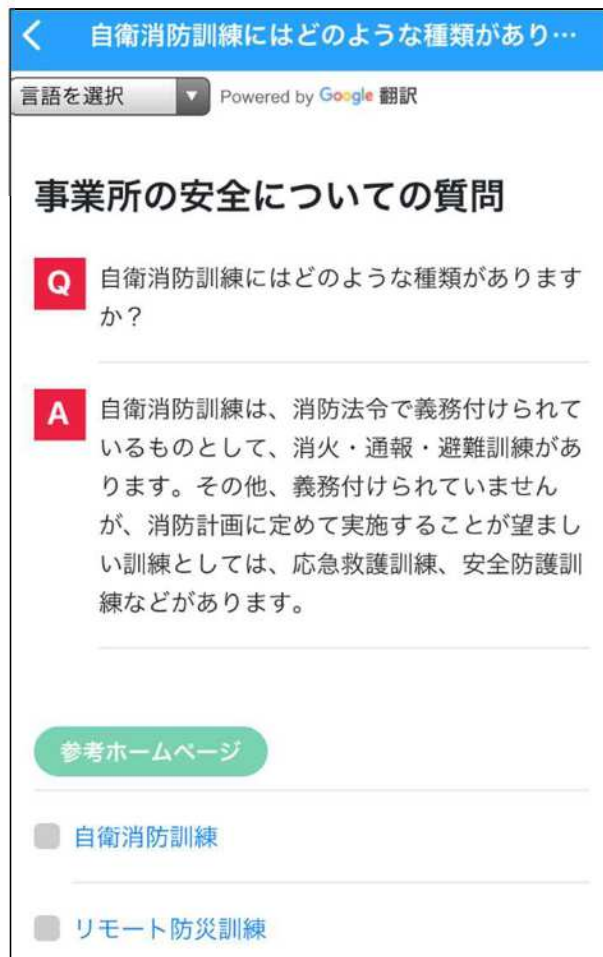
※**英語・中国語（繁体字、簡体字）**及び**韓国語**に翻訳したものを公開しています。

9. 東京消防庁公式アプリ



イベント情報、防災クイズ、よくある質問コーナー、ビデオライブラリーなど
たくさんのコンテンツがあります。

9. 東京消防庁公式アプリ



F A Q

防火管理の疑問を解決！

皆さんが疑問に思う内容を、
カテゴリごとに回答します。

さらに、参考ホームページへの
リンクから、より詳細な解説を
確認することができます。

9. 東京消防庁公式アプリ



救急サポート

もしもの時の安心サポート

◆心肺蘇生動画

救命講習で学んだ心肺蘇生の方法を、動画で確認することができます。
この動画は、オフラインでも視聴できます。

◆胸骨圧迫テンポ音

胸骨圧迫を安全にリードするテンポ音を流すことができます。
もしもの時でも心肺蘇生をサポートします。

10. 東京消防庁からのお知らせ



東京消防庁 電子申請システム

自衛消防訓練の通報

入力状況 0%

東京消防庁の「自衛消防訓練の通報」のオンライン申請ページです。
制度の詳細や条件については、東京消防庁のホームページをご確認ください。
[制度詳細・マンション防犯訓練についてはこちら](#)

- 1 訓練資材の貸出しや職員の派遣申請を行う通報はできません。直接管轄消防署にご相談ください。
- 2 アカウント登録すると、申請時のデータを確認することができます。（1年を超えて確認が必要な場合は、画面の保存をお願いします。）
- 3 フォームで申請した内容は、画面までの確認となり、様式の形で出力できません。紙の様式に受付印の押印が必要な場合は、消防署へのご提出が必要です。

利用規約をご確認ください

[利用規約](#) に同意して、申請に進んでください。

☐ 利用規約に同意する

申請に進む

東京消防庁公式ページとして株式会社グラフィックが運営しています。

令和7年2月28日をもって、東京共同電子申請・届出サービスでの申請が出来なくなりました。

令和7年2月28日よりスマート申請の運用を開始しました。自衛消防訓練通報を電子で申請を希望される方は、インターネットまたはスマートフォンにてスマート申請サービスを開いていただき申請をお願いいたします。

※申請者IDは東京共同電子申請・届出サービスとは異なります。
新たにIDを取得するか、IDを登録しない方法にて申請してください。





災害はいつ起きるかわかりません。
災害発生時に備え、計画を立て、訓練を実施しましょう。